

【 基本的な考え方 】

昨年度の成功実績をベースにしながら、

参加体験の要素をより充実させ、

「50周年」「大阪・関西万博」といったトピックで盛り上げます。

第49回「堺まつり」は...



- 大パレードがメインではなく、巨大ストリートフェスへと生まれ変わったことをアピールし、期待感を高めた
- 大小路筋をメインに、大道筋や環濠エリアまで加えた  
「面的な展開により、パレード時代より多くの来場客を迎え入れた
- ふとん太鼓や鉄砲隊をより近くで見て、その迫力を体感させた
- DANCE STUDIUMとの連携、鉄砲隊のイラストバックパネル、働く自動車の展示など、新たな要素も好評を博した

+

参加体験  
要素の充実

「堺ならではの」の  
参加体験の要素をプラスして  
滞在満足度を高めるとともに、  
観光集客へとつなげていく

+

50周年  
アニバーサリーの  
表現

アニバーサリーイヤーの  
祝賀ムードを演出しつつ、  
さまざまな手法で共に祝い、  
さらなる発展を願う

+

万博カウント  
ダウン機運の  
醸成

2025年「大阪・関西万博」の  
開催1年半前をアピール。  
「いよいよ」との期待感を  
高めながら、まつりを盛り上げる

## 【 年度テーマ 】

昨年度の「みんなが集う みんなで育む 明日へ続く堺まつり」の  
シンプルでわかりやすいテイストを基本的に踏襲しながら、**第50回のコンセプトを表現**します。

theme

## みんなが集い みんなで祝う 未来につなぐ 50周年の堺まつり

- 50周年のアニバーサリー感をシンプルに、ストレートに表現するテーマ案

## 【 ロゴデザイン案 】

古墳を中心に据えた、堺ならではのイメージと親しみやすさを兼ね備えた従来からのデザインを踏襲。  
**「50th」と「SAKAI MATSURI」のカラーを金色風に目立たせ、アニバーサリー感を演出**します。



### <ロゴデザインの基本コンセプト>

- 「人々が手を取りあって、未来へとつないでいこう！」との姿を意匠化。世界遺産である古墳を中心に据え、未来を担う子どもへと輪がつながるイメージを打ち出しています。  
また、7人の輪 = 7区のまとまりを表現しています。



【各ゾーンのネーミングと実施内容】

大小路筋は「ストリート」で統一し、来場客の期待が高まるように、各ゾーンをネーミング。

▷下図のうち、「市民パワーストリート」「鉄砲隊ストリート」「ふとん太鼓ストリート」は、バリカにより歩行者との分離をおこないます。

